

玉泉院丸庭園

玉泉院丸庭園は、伝統的な日本庭園で、金沢城公園の敷地内にある。この段違いに作られた設計は、庭園に立体感を持たせている。庭園の設計物には、独特な石垣の一つから流れる階段のような滝がある。金曜と土曜、祝日前日の日没後、庭園は、季節ごとに変わるきらびやかな色の光でライトアップされる。

庭園が見渡せる玉泉庵の茶室では、茶と伝統菓子がいただける。この庵の外側には、自由に座れる座敷があり、高く造られた見晴らしの良い地点から、ゆっくりと庭園を眺めることができる。

玉泉院丸庭園は、加賀藩（現在の石川県とその周辺）の2代目藩主の正室、玉泉院にちなんで名づけられている。歴史的にここは、この地の大名が私的な庭として使っていた。江戸時代（1603-1867）末期の様子によく似せて修復されている。